

一次審査における提案テーマの検討（案）

一次審査においては、配置技術者の資格・実績と一次技術提案を求めることを前提とした上で、「評価採点方式」を採用した場合、一次審査における提案テーマについて検討しました。

1) 一次技術提案の提案テーマ

第1回審査委員会にてご提示した「提案を求めるテーマ」を踏まえ、下記を一次審査時に求める「一次技術提案における提案テーマ（案）」を下記に2案検討しました。

＜案1＞それぞれ具体的なテーマ及び内容を示し、応募者にある程度の提案のガイドラインを示す案

提案テーマ	内容
＜業務実施方針＞	「世田谷区本庁舎等整備基本構想」及び世田谷区の現状を踏まえた設計業務の実施方針を提案すること。 また、その実施方針を実現するための設計体制を提案すること。
＜提案テーマ1＞ 庁舎建築計画に関わる考え方について	行政機能、議会機能、区民機能、広場機能のそれぞれ相互の関連性ならびに敷地の周辺環境との調和に配慮した配置計画の考え方とゾーニングを提案すること。
＜提案テーマ2＞ 庁舎デザインに関わる考え方について	現庁舎等の空間特質を踏まえ、区民に親しまれる世田谷区本庁舎等にふさわしいデザインの考え方とイメージを提案すること。
＜提案テーマ3＞ 本整備に関わる技術的な考え方について	災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮などを実現するため、特に本庁舎等整備において取り入れるべき技術の考え方を提案すること。

※ 提案書の枚数は、＜業務実施方針＞ A4 縦 1枚、＜提案テーマ1～3を合わせて＞ A3 横 1枚を想定

＜案2＞案1と業務実施方針は同様だが提案テーマに関しては、応募者が提案でアピールしたいと思うことをある程度自由に提案していただく案

提案テーマ	内容
＜業務実施方針＞	「世田谷区本庁舎等整備基本構想」及び世田谷区の現状を踏まえた設計業務の実施方針を提案すること。 また、その実施方針を実現するための設計体制を提案すること。
＜提案テーマ1＞ これからの世田谷区が目指すべき庁舎像について	災害対策や環境性能などの求められる機能・規模、事業費の抑制、工期の短縮、空間特質の継承などの基本構想の方針を踏まえ、提案者として、これからの世田谷区庁舎等が目指すべき庁舎像について考え方を提案すること
＜提案テーマ2＞ 世田谷区本庁舎等整備において重要と考える項目について	基本構想を踏まえ、提案者が重要と考える要素をあげその項目に対する建築計画上の考え方や取り入れるべき技術の考え方を提案すること
＜提案テーマ3＞ 世田谷区本庁舎等整備の建築計画について	テーマ1及び2で示した考え方に基づき、基本構想に示す各機能別の面積を前提に行政機能、議会機能、区民機能、広場機能のそれぞれ相互の関係性ならびに敷地の周辺環境との調和に配慮した考え方を提案すること。 提案にあたっては、配置ゾーニング図を提案すること。（単線で表示し、地上、地下の階数を示すことで規模が概ねわかるように表現すること）

※ 提案書の枚数は、＜業務実施方針＞ A4 縦 1枚、＜提案テーマ1～3を合わせて＞ A3 横 1枚を想定

2) 配置技術者 資格・実績評価項目

本業務に有効な資格や実績の数、携わった立場を評価する。

配置技術者	資格評価	実績評価
管理技術者	一級建築士 CASBEE 建築評価委員	同種・類似の設計件数 携わった立場 等
建築（総合）主任技術者	一級建築士 CASBEE 建築評価委員	同種・類似の設計件数 携わった立場 等
構造担当主任技術者	構造設計一級建築士 一級建築士、技術士（構造関係）	同種・類似の免震設計件数 携わった立場 等
機械設備担当主任技術者	設備設計一級建築士、一級建築士、 建築設備士、技術士（機械設備関係）	同種・類似の設計件数 携わった立場 等
電気設備担当主任技術者	設備設計一級建築士、一級建築士、 建築設備士、技術士（電気設備関係）	同種・類似の設計件数 携わった立場 等
ホール担当主任技術者	一級建築士、 ※他、有効な資格を検討	ホールに係る同種・類似の設計件数 携わった立場 等
音響担当主任技術者	一級建築士、 ※他、有効な資格を検討	ホールに係る同種・類似の設計件数 携わった立場 等
ランドスケープ担当主任技術者	RLA、RCCM（造園）、技術士（造園部門）、 一級建築士	ランドスケープに係る同種・類似の設計 件数 携わった立場 等
コスト担当主任技術者	建築積算士、コスト管理士 一級建築士	同種・類似の積算、コスト管理件数 携わった立場 等

実績の数について

提出を求める実績数として、過去事例では下記の実績数が見受けられます。（最大件数）

府中市（2件）、各務原市（3件）、市川市（3件）、清瀬市（5件）、千葉市（5件）

上記事例を参考に最大件数と定める視点から、事務局としては「**5件**」（**最大件数**）とすることが望ましいと考えます。

同種、類似事例について

同種は、資料6-1の経験実績に定める事例と同様に、行政庁舎における延床面積8,000㎡以上の設計実績とし、類似は、公共工事における延床面積8,000㎡以上の実績とすることが考えられます。

また、ホールに関する同種・類似、ランドスケープに関する同種・類似は同様に資料6-1に沿って設定します。

詳細は検討の上、評価要領により記載するものとします。

以上